

## 馬の発育の調査からⅡ

### — ボディコンディションスコア —

体重や各部位の長さの計測値の他に、馬の体格をしめす数値としてボディコンディションスコア(BCS)があります。肉付きや肥満状態などを示す数値です。細い、太い、普通といったボディコンディションを数値化したものです。この三段階の区分の間に、やや細い、やや太いをいれて五段階にしたものや、さらに細分して九段階にしたものもあります。国内では、Hennekeら(1983)が、九段階に区分して定義したボディコンディションスコアを、日本語に翻訳したものが普及しています。(軽種馬飼養標準(2004年)日本中央競馬会 競走馬総合研究所 編)

ところで、子馬の飼養管理がととのってくると、最終的な成馬になった時の大きさは、ほとんどが遺伝や天候など、飼養技術でない要因によってできまわっていると言われるようになってきました。Nature versus nurture(氏と育ち?)の議論は、よりNatureに分が回ってきたようです。

ですから、子馬の発育の様子を把握することは、大きさの調整をするためではなく、きちんとした飼養管理ができているかのバロメータとして、発育をチェックすることなのです。具体的には、離乳や冬期間の寒さ、あるいは放牧地の状況や運動量の変化、飼料の変更などで、予期していない発育状況になっていないかをチェックしているのです。

となると、子馬の大きさはとにかくとして、最も見ておかななくてはならないのはボディコンディションの変化なのかも知れません。

しかし、実際の馬でボディコンディションを数値化するのは、一定するまでの熟練が必要です。とくに子馬の場合は難しく、たとえば骨格の違いから、肉付きが悪くても、背や尻で脊椎の突起が目立つことはありません。実際に体に触って、肉付きを感じ取らなくてはなりません。体重のほうも、客観的な数値で間違いはありませんが、発育期の順調な体重増加なのかは、「標準成長曲線」と比較するなどして、検討する必要があります。

一方、前回の誌面で、長さの計測値から体重を計算で求める方法について紹介しました。その際、実測値との誤差に、ばらつきがあることを示しました。この誤差はなにからくるのかというと、どうやらこのボディコンディションの違いも大きく関わっているようです。胸囲などの計測が、肉付きなどをどれだけ反映しているか分かりません。

ですから計算でもとめた体重の値で、子馬のコンディションを検討するのは、本末転倒になってしまいます。

体重計を用意できない牧場こそBCSの正しい読み取りを重視すべきですし、体重計で測定している牧場も、数値の変化は、馬が大きくなっているということばかりでなく、コンディションがどう変化しているかも、意識してみることが重要でしょう。

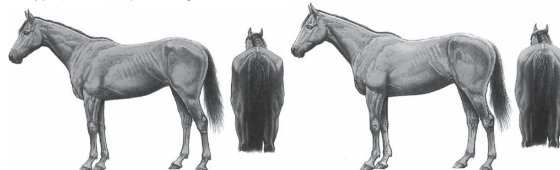
### ボディコンディションスコア(BCS)

- 1. 削瘦**  
極度にやせており、脊椎(腰椎、胸椎)の突起や肋骨、股関節結節、坐骨結節は著名に突出している。き甲、肩、頸の骨構造が容易に認められ、脂肪組織はどの部分にも触知出来ない。
- 2. 非常にやせている**  
やせており、脊椎(腰椎、胸椎)の突起や肋骨、股関節結節、坐骨結節などが突出している。き甲、肩、頸の骨構造はわずかに認められる。

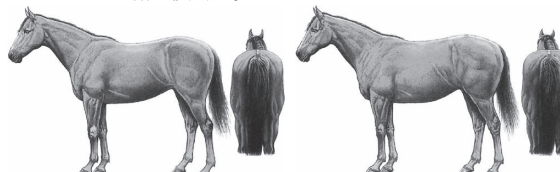
図 省略



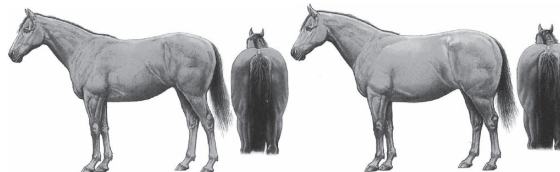
- 3. やせている**  
肋骨をわずかな脂肪が覆う。脊椎の突起や肋骨は容易に識別できる。尾根は突出しているが、個々の椎骨は識別できない。股関節結節は丸みを帯びるが容易に見分けられる。坐骨結節は見分けられない。き甲、肩、頸の区別が明確である。
- 4. 少しやせている**  
背に沿って脊椎の突起が触知できる。肋骨がかすかに識別できる。尾根の周囲には脂肪触知できる。股関節結節は見分けられない。



- 5. 普通**  
背中央は平らで、肋骨は見分けられないが触れると簡単にわかる。尾根周囲の脂肪はスポンジ状。き甲周囲は丸みを帯びるようにみえる。肩はなめらかに馬体に移行する。
- 6. 少し肉付きがよい**  
背中央にわずかな凹みがある。肋骨の上の脂肪はスポンジ状。尾根周囲の脂肪は柔軟。き甲の両側、肩周辺や頸筋に脂肪が蓄積し始める。



- 7. 肉付きがよい**  
背中央は凹む。個々の肋骨は触知できるが、肋骨脂肪で占められている。尾根周囲の脂肪は柔軟。き甲周囲、肩後部や頸筋に脂肪が蓄積する。
- 8. 肥満**  
背中央は凹む。肋骨の触知は困難。尾根周囲の脂肪は柔軟。き甲周辺は脂肪で充満。肩後方は脂肪が蓄積し平坦。



- 9. 極度の肥満**  
背中央は明瞭に凹む。肋周辺を脂肪が覆う。尾根周辺、き甲、肩後方および頸筋は脂肪で膨らむ。ひばらは隆起し平坦。

図 省略